



クラウド型情報分析システム **「エンタープライズ」**

コロナ禍に伴う情報ニーズの高まりで、ますます注目の存在に

客数回復の度合いが一目瞭然!

導入店舗の頭取りデータをクラウド上に集約し、様々な分析が可能となる『エンタープライズ』。コロナ禍の影響が不透明な今だからこそ、ホールからの注目度はますます高まっている。

全国70%のホールの稼働データをカバー

「エンタープライズ」は2010年の運用開始以来、実用性の高さにより導入店舗が着実に増加。加

盟ホールは4200店舗を突破し、集約された稼働・客数データは約6300店舗、台数にして約300万台を誇る。稼働データ集計率にして約70%にまで拡大した。メディアシステム(株)の玉田正明

シニアマネージャーは、注目が高まる理由について「感染リスクの回避」と「正確、かつ、詳細な稼働情報に対するニーズの高まり」の2点を挙げる。6月以降、本格的に営業を再開

回復率の高い店舗 【東京都/回復率:72.3%】

ホール	6/15週客数	2/17週客数	稼働率	回復率
P店(931台)	239.8	218.5	25.8%	109.7%
N店(162台)	41.3	40.8	25.5%	101.3%
B店(365台)	78.2	83.1	21.4%	94.1%
P店(972台)	325.3	352.6	33.5%	92.2%
S店(450台)	130.9	143.8	29.1%	91.0%
S店(562台)	124.6	137.0	22.2%	91.0%
H店(983台)	495.1	552.4	50.4%	89.6%
M店(520台)	181.4	203.0	34.9%	89.4%
D店(337台)	97.7	109.8	29.0%	89.0%
P店(609台)	152.8	173.2	25.1%	88.2%
A店(276台)	58.0	66.2	21.0%	87.6%
S店(853台)	357.5	408.6	41.9%	87.5%
S店(644台)	233.6	272.0	36.3%	85.9%
B店(167台)	77.7	91.2	46.5%	85.2%

コロナ前と比較しコロナ後、どこまで客数が回復したかを示す「回復率」。同システムならではの指標で大変興味深い。東京都内のホールの平均回復率は72.3%。極一部だが、コロナ前より客数が増えているホールも存在する。

都道府県別回復率(6/15~6/21)

順位	都道府県	回復率	順位	都道府県	回復率	順位	都道府県	回復率
1位	沖縄県	99.4%	17位	岡山県	80.2%	33位	埼玉県	74.8%
2位	鹿児島県	91.2%	18位	北海道	80.1%	34位	石川県	74.3%
3位	宮崎県	88.9%	19位	茨城県	80.0%	35位	神奈川県	74.1%
4位	長崎県	85.1%	20位	香川県	79.8%	36位	栃木県	73.4%
5位	熊本県	84.3%	21位	京都府	78.7%	37位	長野県	73.0%
6位	愛知県	83.6%	22位	福岡県	78.3%	38位	奈良県	72.9%
7位	岩手県	83.0%	23位	岐阜県	78.0%	39位	新潟県	72.7%
8位	静岡県	82.1%	24位	秋田県	77.3%	40位	東京都	72.3%
9位	大分県	82.0%	25位	三重県	76.9%	41位	福島県	72.1%
10位	広島県	81.9%	26位	徳島県	76.4%	42位	福井県	72.0%
11位	和歌山県	81.9%	27位	青森県	75.9%	43位	山梨県	71.9%
12位	佐賀県	81.8%	28位	大阪府	75.7%	44位	宮城県	71.8%
13位	愛媛県	81.0%	29位	群馬県	75.6%	45位	島根県	71.7%
14位	滋賀県	81.0%	30位	富山県	75.3%	46位	鳥取県	71.5%
15位	山口県	80.9%	31位	高知県	75.1%	47位	山形県	71.0%
16位	兵庫県	80.4%	32位	千葉県	75.0%			

都道府県単位で見た客数の「回復率」。ランキングトップの沖縄県は、客数に関してはほぼ元に戻った一方、ランキング下位の各県は、客数の戻りが未だ7割程度にとどまっている。

したホールだが、コロナ前とは営業形態の常識がガラリと変化した。玉田氏は「頭取り調査自体がスクラップやお客様に対して、感染リスクがゼロとは言えません。調査される側のホール様も『できれば来て欲しくない』のが本音ではないでしょうか」と話す。

これまで日々のルーティンとして競合店の頭取り調査をしていたホールも、感染防止対策を強化するための施策として、同システムを活用する動きが高まっている。但し、感染対策を十分に施しても、多くのホールがコロナ前に比べ稼働を落とした。また、状況がいつ好転するのかわからない。「こういう状況だからこそ、情報に対するニーズが高まっています」と玉田氏は話す。「今後どうなるのか、どうしたら良いのか、コロナという大きな変化に対応するため

にも正確な情報を取る必要があるのではないだろうか(同氏)。同システムでは、加盟店舗および加盟店舗が収集した競合店の全体稼働はもちろん、貸玉別、機種別など詳細な情報の取得も可能。新型コロナにより大幅に稼働が落ち込んでいる現状だが、例えば比較的、稼働減少の影響が少ない機種営業形態を調べることもできる。

コロナ前から、どれだけ客数が回復したか?

取り分け、同システムならではの情報として「回復率」を把握できることは特筆すべき点だ。「回復率」という指標は、その名の通り、コロナ前に比べて、どこまで客数が回復したかを店舗毎や地域毎などで確認することができる。そのため、回復率の高いホールを見つめることができる上、あるホールの機種毎や営業形態毎でも回復率を見ることが可能だ。玉田氏は「回復率を分析すると、



メディアシステム株式会社 玉田正明シニアマネージャー

パチンコよりもパチスロ、高価貸しよりも低価貸し、夜よりも朝の稼働の回復率が高い。夜の稼働の回復が鈍い点など、まさに「新しい生活様式」の影響を受けていることが一目瞭然です。だからこそ、エンタープライズを使えばこの厳しい状況の中でも自店の復活の力ギとなるような機種を見つめることもできます」と全国的な傾向を話す。このような正確で詳細な情報は、不透明な状況が続く今だからこそ、大いに活用する余地があるだろう。「稼働予測」機能を今秋リリース

同システムは、加盟ホールの意見を参考に日々、改良を重ねている。直近だと「新台の評価を早く知りたい」という声が多かったことから、新機能として新台の「稼働予測」を搭載する予定にある。同機能はエンタープライズならではのビッグデータ分析をさらに進化させ、新台の導入開始後、最短3日で、今後の全国における当該機種の平均稼働を予測。さらに、その後の稼働推移に関して過去、同じように動いた機種を割り出すことが可能になる。同機能のリリースは今年の秋を予定している。

進化したEnterpriseで、未来を見据えた経営戦略を。

http://www.e-mediaworld.net

メディアシステム エンタープライズ 検索

2010年のサービス開始以来、約600社の企業にご利用いただき、6300店舗の稼働データを網羅したEnterpriseが多くのお客様の声からさらなる進化を遂げました。是非貴社の営業戦略にお役立てください。

メディアシステム株式会社
TEL.03-5350-8133(代)

大阪本社 〒542-0085 大阪府大阪市中央区心斎橋1-917 エトワール心斎橋9F

東京本社 〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー14F

分析可能店舗 **6,300**店舗

業界カバー率 **70%**

クラウド型情報分析システム「エンタープライズ」

メディアシステム株式会社

住所 東京都中野区本町1-32-2
ハーモニータワー14F

Tel 03-5350-8133(代)

Web www.e-mediaworld.net